

平成27年度 狭山市立中央中学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方針について評価する。

※ 【評価の目安】

- A : よくできている。 (90%以上)
- B : 概ねできている。 (85%以上)
- C : あまりできていない。 (70%以上)
- D : できていない。 (70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から 評価(文章表記)
			評価	説明	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	職員会議や毎朝の職集で折に触れて校長・教頭から教職員に指導し教職員は全員理解している。	教職員の目標意識が明確になっている。必要な取組が様々な方面からアプローチされている。教職員は、校長をはじめ素晴らしいラインが存在している。来校時に生徒を見ると、一人一人が生き生きと本当に楽しそうである。教職員の生徒に対する接し方がよく、生徒から信頼を得ている様子がわかる。校内は清掃が行き届き、教師が率先垂範し清掃活動に取り組んでいる成果と思う。生徒が安心して学校生活ができており、今後とも安心・安全な学校運営と、事故防止に努めてほしい。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。	A	学校評価アンケートでは90%が学校は自分たちを成長させていると感じている。	
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	学校評価では100%の教員が共通理解・共通行動がとれていると回答している。	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A	校内外の環境整備が進み、また生徒の清掃活動は委員会活動の取組として進められ自主的に黙々と掃除をする無言清掃に取り組んだ。	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	B	大規模改修でトイレ・教室ドア交換、床や体育館・武道場の天井などが改善されたが、校舎壁のひび割れ、雨漏り、外壁の汚れなど目立ち改修の必要がある。	
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	A	生徒のアンケート結果ではどの授業も理解できているが8割～9割から8割を超えている。	落ち着いた授業をしている。先生も穏やかに問いかけている姿が印象的である。最近、プリントや教材は豊富だが、書くことが少なくなっている。板書を多くしてみたらどうか。全国等の学力テストが平均を超えているとのこと、教職員の努力と真剣に取り組む生徒の成果だと思う。底上げや、さらに出来る生徒のランクアップをお願いしたい。家庭学習習慣の定着は保護者と連携は必要だと思う。「朝イチ学習会」の取組は、生徒の家庭学習や生活習慣改善の意味においても素晴らしいと思う。さらに課題のある教科については学年等で連携して改善を図っていただきたい。英語の取組(英トレ)も素晴らしいと思う。5年後の東京オリンピックに向けて英語に対する興味を高めるよいタイミングだと思う。今後も熱のこもった授業をお願いしたい。
	7	児童は、落ち着いた学習に取り組んでいる。	B	校長の授業参観が毎日行われている。一部の学級や授業に若干の問題があり、学年で連携して改善を図っている。	
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。	A	学力調査の結果では、市内上位を維持し、全国・県の平均を超えている。不十分な教科についても対策を講じている。	
	9	児童は、家庭学習の習慣を身につけている。	A	家庭学習を定着するための取り組みを実施し成果をあげ、計画表や家庭学習ノート、自主教材などの開発を進めている。	
	10	児童は、英語活動をおとして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	A	英単語のトレーニングを実施し成果をあげている。学習ボランティアに協力を得て個別の指導をすすめている。	
規律ある態度	11	児童は、進んであいさつをしている。	A	自分から進んで挨拶する生徒が増えて来校者や地域からもお褒めの言葉いただいている。生徒会活動等でも自主的に挨拶運動が展開されている。	中央中の近くを歩いても生徒から声をかけられ挨拶をされる。指導が行き届いていることを感じる。訪問時も生徒はよく挨拶をする。言葉遣いに関しては学校のせいばかりではないと思う。大人と話す機会が絶対的に減少している。しかし、学年があがるにつれて言葉遣い越来越好まっているのは指導の成果だと思う。また、遅刻がないのは学校生活への取組の意欲の高さの現れと感じる。日常生活において時間厳守は当然と考えるが、大人でもできないことある。時間前に着席できているのは素晴らしいことだ。普段の学校生活、入學式、卒業式など服装の乱れがなく大変立派である。管理職の先生も率先して掃除しているという話を聞いているが良いことだと思う。
	12	児童は、場に応じた言葉遣いができている。	A	挨拶とともに言葉遣いの改善がみられる。入学当初の慣れあいの言葉遣いが消え、敬語が使える。	
	13	児童は、時間を守って生活している。	A	チャイムが鳴り終わる前に着席している。時間通りに集会も進みます。遅刻は極めて少ない。	
	14	児童は、きまりを守って生活している。	A	問題行動や非行をはたらく生徒はいない。服装の乱れなどに注意すると素直に直し、委員会等でも自主的に点検している。	
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A	朝の立降、下校指導、清掃指導等すべての教師であり、始業前に教室に行き、手本を示している。	
健康・体力	16	学校は、児童の体力を高めている。	A	体育科を中心に体力向上に取り組み、今年は体力テストにすべて教員であり、市内でも上位の成果をあげた。	薬物乱用防止教室後の生徒の感想を読むと、しっかりと聞いていることがうかがえる。リレー大会やドッジボール大会、クラス別の駅伝大会など体力強化に努めていることがわかる。食育の取組みも行われているようだが、今後も食生活は生命維持に大切な事だと思うので、計画的に実施してほしい。また朝ご飯を必ず摂る習慣を徹底してもらいたい。
	17	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A	体育については90%の生徒が授業を楽しく取り組んでいると答え、保健学習や命の学習、食育も計画的に実施された。	
	18	児童は、健康を意識した生活をしている。	A	薬物乱用防止教室、救急救命講習、性教育など健康や保健に関する学習を計画的に行えた。	
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	月1回の学校だより、週1回のHP更新の他、さやまっ子緊急メールの活用など情報を広く提供し、好評を得ている。	HPが良くできており、通知などのプリントが見つからない時にチェックできるので助かっている。HPや学校便りは開かれた学校づくりの一助となるので継続してほしい。学校便りの校長の記事は毎回楽しみにしている。緊急メールもよく活用されている。地域の活動に生徒を参加させていたが、地域交流にとって大切なので今後も努めていただきたい。くすの樹会との連携・協力関係が素晴らしい。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A	PTA、くすの樹会、学校応援団などの団体が積極的に学校に関わり、公民館や集会所、地域会議等の事業にも積極的に参加させている。	